



2010.7.5

No. 198

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月8日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

村田 仁

T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

—非常事態宣言—

藤川・危機脱出に向けた緊急行動の要請について

2010年6月28日 連合北海道政治センター

「政権安定の夏の陣！」第22回参議院議員選挙は、序盤戦から連立与党・民主党が単独過半数を獲得するのか、それとも野党がそれを阻止するのか、激しい闘いが繰り広げられている。公示直後の報道各社の全国世論調査では、菅政権への交代で内閣や政党の支持率が「V字回復」した民主党は比例選での優勢が伝えられるものの、選挙区では一人区や二人区で新人候補が苦戦を強いられている。

一方、新人6候補が定数2議席を争う北海道選挙区は、民主・徳永と自民・長谷川を連合北海道が推薦する民主党公認の藤川まさし候補が激しく追い上げる中で、報道各社の調査でも有権者の3割から半数の有権者が態度を明らかにしていないことから、民主・藤川は残された2週間の闘い次第で十分に射程圏内の状況にある。

ただ、民主・藤川は、民主支持層や最大の支持母体である連合組織内を固め切れていないことや、都市部での浸透不足、無党派層への切り込み不足が指摘されている。この現実を直視して、藤川陣営に結集するすべての支援者、企業・団体を奮い立たせ、自らの力で這い上がる諸対策を講じていく必要がある。

民主・藤川陣営と連合北海道は、このような序盤戦の情勢分析にたつて、選挙戦における組織内地方議員との連携強化、関連企業・団体対策を行うと共に、連合組織内における①組織の総点検と「ロコミ大作戦」の展開、②連合組織内比例候補と選挙区＝藤川の完全連動対策、③期日前投票の促進に加え、藤川・危機脱出にむけた「あと一票」掘り起こし運動の展開などを、全産別・単組、全組合員に呼び掛けていくこととする。

記

- 組織の総点検と「ロコミ大作戦」の展開（組合員・家族、退職者・OB）
- 連合組織内地方議員・後援会との連携強化、企業・団体対策の徹底
- 連合組織内比例候補と選挙区＝藤川の完全連動対策
- 藤川・危機脱出！「あと、一票！」掘り起こし運動の展開
※特に、道都・札幌圏の決戦にむけて、知人・友人への「電話掛け」の呼び掛け
- 組合員・家族、退職者・OBの100%投票、期日前投票の促進と点検活動

政権安定の夏へ!

誰もが安心して暮らせる国づくり
人を大切に
する政治



北海道選挙区

藤川まさし

参議院選挙 比例区・選挙区も個人名で

連合候補者「比例区」

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 石橋 みちひろ (擁立産別/情報労連) | 津田 やたろう (擁立産別/JAM連合) |
| いたくら 一幸 (擁立産別/私鉄総連) | なおしま 正行 (擁立産別/自動車総連) |
| えさき たかし (擁立産別/自治労) | なたにや 正義 (擁立産別/日教組) |
| 加藤 としゆき (擁立産別/電機連合) | なんば 奨二 (擁立産別/JP労組) |
| 小林 正夫 (擁立産別/電力総連) | 柳沢 みつよし (擁立産別/UIゼンセン同盟) |
| たしろ かおる (擁立産別/JR総連) | (五十音順) |

投票に行こう!

7月11日(日)は参議院選挙投票日

**ニッポンの
原動力・連合**
すべての働く者のために頑張る!

希望と
安心の
社会づくり

期日前投票のすすめ

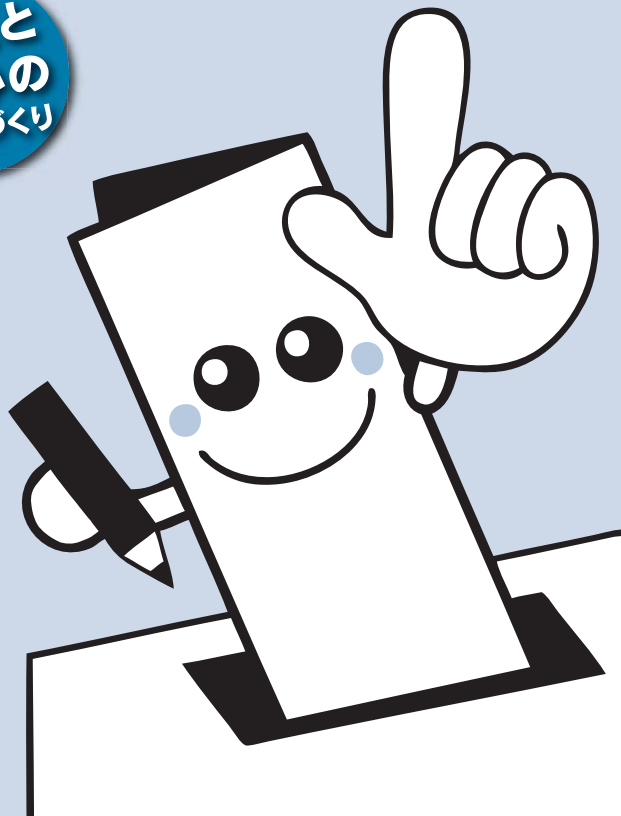
投票日に投票にいけない方は前もって投票しましょう。

私用でもOK!

選挙当日、仕事や旅行などで投票所に行けない方も投票できます。

毎日投票できます。

告示日の翌日から投票日の前日までの8:30~20:00、土日にかかわ



比例区も選挙区も個人名で

2010年

7月

期日前投票ができる日

日	月	火	水	木	金	土
			公示日 6/24	6/24	25	26
27	28	29	30	7/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

詳しくは各市町村の選挙管理委員会に確認してください。

全道組合員一丸となって参院選へ

連合北海道第43回地方委員会開催

連合北海道は、6月17日、第43回地方委員会を開催し、2010春季生活闘争の中間まとめの他、政治闘争の取り組み、高橋道政の検証（中間報告）などについて論議が行われ、確認された。

冒頭、高柳会長は挨拶の中で、春季生活闘争について「北海道経済に持ち直しの動きがみられると言うが、雇用動向からは実感できない」「エントリー組合のうち未だ120余の組合が未解決であり、引き続き産別指導・地域支援を強め、早期解決を図る」とし、「次につながるようにしっかり総括する」とした。

また、政治の課題については、先頃誕生した菅内閣に対し「国民の負託に応えられるよう期待したい」「政策・制度要求など具体的な運動面から支えていく」とした。更に、参議院選挙闘争については、取り巻く環境や産別事情により厳しい状況にあっても「手を休めたり立ち止まるわけにはいかない」「昨年の政権交代の歴史的な位置づけを再認識し、安定政権確立に向けてしっかり闘うことを全産別・地域組織に要請する」とともに、「北海道選挙区 藤川まさし」「比例選挙区 産別候補11名」の当選に向け、組織の総力を挙げて闘い抜くと誓った。

参議院選挙については来賓挨拶でも触れられ、「この1週間が勝負である。連合組織が全力投球すれば2議席は不可能ではない。民主党候補2人の当選で来年の選挙に結びつけましょう」（民主党副代表 林道議会議員）、「菅政権には大きな役割があり、日本が迷走から抜け出すためにも参議院選挙勝利が重要である」（渡部労福協理事長）と、力強い挨拶が続いた。

次に議案の審議が行われ、1) 2010春季生活闘争中間まとめ、2) 政治闘争の取り組み（参議院選挙の取り組みその3、統一自治体選挙第1次推薦）、3) 新しい道政の確立に向けた高橋道政の検証（中間報告）、4)



2010年度中間決算報告の全ての議案が確認された。

特に、政治闘争の取り組みでは、産別・地協代表者7人（情報労連、UIゼンセン同盟、自治労、JP労組、電力総連、私鉄総連、十勝地協）から、組合役員による職場訪問や組合員宅訪問など参議院選挙に臨む決意表明がなされ、全組合員が一丸となって取り組むことで改めて意志統一がされた。

最後に、工藤会長代行の音頭で参議院選挙勝利に向けた団結ガンバローが行われた。

また、今地方委員会では、宮崎県の口蹄疫被害に対する組合員カンパ実施も確認され、ただちに取り組むこととした。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2010061701_43chiho.html



毎回大好評の組合員特別優待クーポン誌

ゆに・ぽん

夏休み版

好評配布中！

果物狩りなど道内のアミューズメント、またホテルなどが特別価格で利用できます。これからの行楽シーズンにぜひお役立てください。

